**第107回選手権宮城大会の熱中症対策　について**

【開会式について】

　①　開幕戦を早い番号とし、行進後開幕戦の投手はベンチから開会式に参加する。

②　行進後の部員に、ペットボトル（ラベルレス）の配付を行う（場所はレフト奥、納品は前日）

　　　また、行進後は着座で待機させる。

【試合時間について】

　①　準決勝・決勝を除く２試合日は、９時と11時30分を試合開始予定時刻とする。

　　（３試合日はこれまで通り９時、11時30分、14時とする。）

②　全校応援等の対応のため、準決勝は10時と13時、決勝戦は10時試合開始予定とする。全校応援の学校には十分な熱中症対策を講じるように、応援責任者と確認する。また、バス１台を救護車とし、球場脇等に配置させる。

【暑さ指数について】

1. 試合中にＷＢＧＴの値が原則２８以上（厳重警戒ランク）に達すると予想される場合には、

３回と７回に３分間（栄冠１曲分）の給水時間を設ける。また、５回のグラウンド整備時間を６分間（栄冠２曲分）と延長する。

1. 熱中症特別警戒アラート（ＷＢＧＴが３５に達する場合）が発令された時

→　当日の試合は全て中止とし、翌日以降に順延する。

1. 熱中症警戒アラート（ＷＢＧＴが３３に達する場合）が発令された時

→　当日の朝に、運営委員会を開き、当該時間帯の試合の実施可否について協議し、必要であれば試　　合日時を変更する。

1. 試合中にＷＢＧＴが３３を超えた場合

→　原則、当該試合を中断し、試合の実施可否について協議し、必要であれば継続試合とする。

1. 暑さ指数が厳重警戒ランク（ＷＢＧＴが２８）以上で、守備側の時間が長引く場合

→　１５分を超えて、２つのアウトが取れない場合、守備側の給水時間を設ける(１分程度)。

【熱中症対策として】

1. 試合毎に各チーム４本ずつＯＳ－１を配付する。守備の際、選手の申し出により足がつるなどの症状が出そうな場合は、試合を止めて給水させる。

第107回全国高等学校野球選手権宮城大会

応援実施計画書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 試合日 | 令和７年７月（　　　）日(　　)曜日(　　)試合目(　　)塁側 | | |
| 学校名 | 高等学校 | 応援責任者役職 |  |
| 応援責任者氏名 |  |
| 応援生徒数 | 名 | 応援責任者連絡先 |  |
| 引率教員数 | 名 | 球場到着(集合)時間 |  |
| 球場までの  移動方法 |  | | |
| 講じることのできる熱中症対策をこちらに具体的に記入してください。 |  | | |
| 高野連や球場側から手伝いが必要な生徒がいる場合はこちらに記入してください。 |  | | |

注意事項

1. 全校生徒でなくとも応援生徒がいる場合は、この用紙を提出してください。
2. この用紙は、応援前日までに作成し、[chief@miyagi-kouyaren.com](mailto:chief@miyagi-kouyaren.com)　にメール送信してください。
3. 生徒の誘導については、先生方の協力をいただきます。ハンドマイクや集合着座の表示などを事前に準備してください。
4. 応援人数が多くなる場合は、学校で救護車(バス)を準備し、冷房をつけた状態で待機させてください。
5. やむを得ず救急車を呼ぶ場合は、高野連担当者を通じて行ってください。